

## （参考資料①）市民の皆さまの声も聞かせていただいています！

### 1. ワークショップの様子

#### 【目的】

市民から広く意見をいただき、草津市健幸都市づくり基本方針に反映する。

#### 【実施方法】

グループワーク形式での意見交換

※新型コロナウイルス感染症の状況によりオンラインとの併用開催

#### 【テーマ】

- ①あなたが健幸だと思うこと
- ②健幸が広がるために必要なこと

#### 【日時】

- ①令和3（2021）年8月30日（月）18：30～20：10
  - ②令和3（2021）年8月31日（火）10：00～11：40
- （①・②とも同内容）

#### 【参加人数】

計23名

### （1）テーマ

- ① あなたが健幸だと思うこと

#### 【主な意見】

- 居場所がある
- 交流の場がある
- 地域で自分の役割がある
- 身体も心も健康
- 仲間がいる
- 家族が健幸である
- 趣味を楽しめる
- 毎日やることがある
- 生きがいを持って暮らせる
- 健康のために何か実践している
- 持病があっても毎日を楽しく過ごせるなど

#### 【現地での開催】



## ② 健幸が広がるために必要なこと

(『健幸なまち』だと思える市民の割合がどうしたら増える?)

### 【主な意見】

- 健幸について知ってもらう
  - 健幸の思いを持つ
  - 生きがいを作れるまちづくり
  - 仲間が集い活動できる機会
  - 働く場所や機会をつくる
  - 外に出られない人を参加につなげる中間機能
  - 健康を意識していない人が健康づくりをする
  - 地域の行事
  - ウォーキング
  - 意欲をもって生活
  - ボランティア活動
  - 情報の提供・共有
- など

## (2) 今後の課題

- 「地域の行事」「仲間が集い活動できる機会」などの意見が挙げられており、集いの場や機会が求められているが、コロナ禍で不安があるとの意見もあり、新型コロナウイルス感染症対策をふまえた交流が必要。
- 「健幸について知ってもらう」や「健幸の思いを持つ」などの意見が挙がっている。地域等で活動している方々にも、自分たちの活動が健幸につながっているという認知や理解を深めてもらい、「草津市が健幸なまちだと思える市民の割合」の増加につなげることが必要。

### 【WEBでの開催】



## 2. LINE アンケートの結果

### 【対象】

草津市 LINE 公式アカウント登録者のうち配信可能者数 3,350 人(R4.1.31 時点)

### 【実施期間】

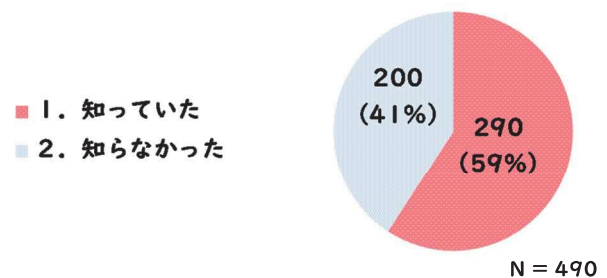
令和4（2022）年1月17日～令和4（2022）年1月31日

### 【主な結果】

#### ●草津市が「健幸都市」を目指していることを知っていましたか？

「健幸都市」を目指していることの認知度について、「知っていた」が 59%、「知らなかった」が 41%となっています。

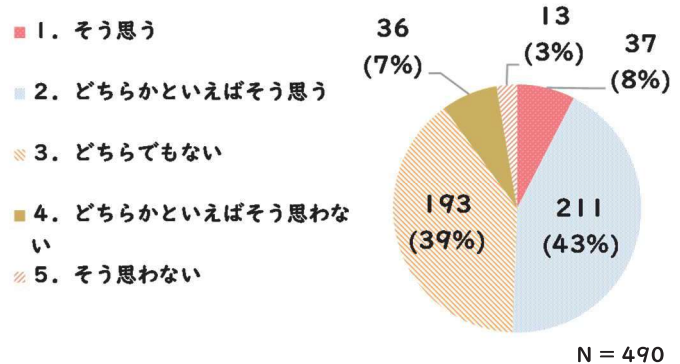
「健幸都市」を目指していることの認知度



#### ●草津市が「健幸なまち」だと思いますか？

草津市は「健幸なまち」と思う市民の意識について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”が 51%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”が 10%となっています。

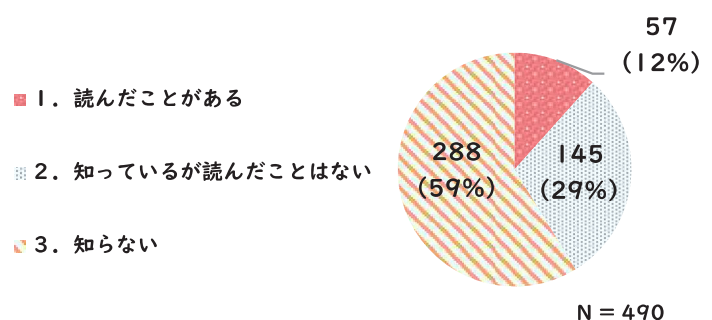
草津市は「健幸なまち」と思う市民の意識



#### ●市は平成 29（2017）年 3 月に「健幸都市基本計画」を策定しましたが、この計画を読んだことがありますか？

健幸都市基本計画を読んだことがあるかについて、計画そのものを「知らない」が 59%と最も高く、次いで「知っているが読んだことはない」が 29%、「読んだことがある」が 12%となっています。

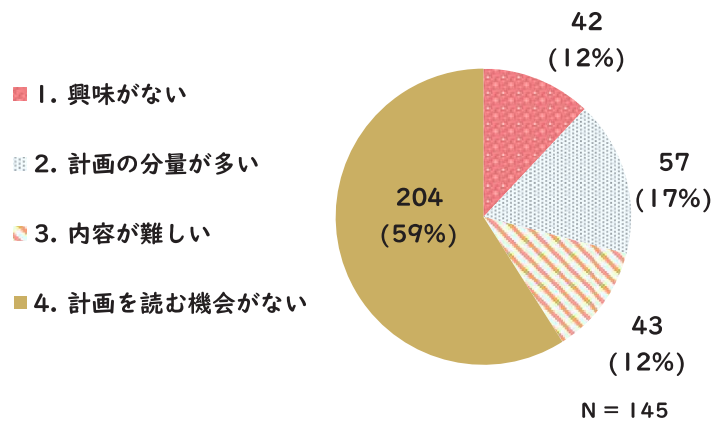
健幸都市基本計画を読む機会の有無  
(複数回答可)



- 健幸都市基本計画を「2. 知っているが読んだことはない」を選んだ方に質問です。それはなぜですか？

健幸都市基本計画を読んだことのない理由について、「計画を読む機会がない」が59%と最も高く、次いで「計画の分量が多い」が17%、「興味がない」、「内容が難しい」が12%となっています。

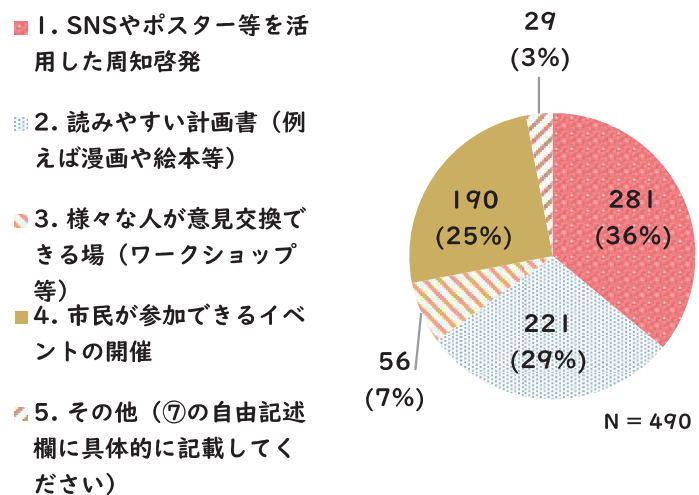
健幸都市基本計画を読んだことのない理由  
(複数回答可)



- 草津市が「健幸都市」を目指していることを市民に知ってもらうために、何が必要だと思いますか？

「健幸都市」を目指していることを知ってもらうため必要なことについて、「SNSやポスター等を活用した周知啓発」が36%と最も高く、次いで「読みやすい計画書」が29%、「市民が参加できるイベントの開催」が25%となっています。

「健幸都市」を目指していることを知ってもらうため必要なこと  
(複数回答可)



自由記述欄には、「健幸自販機の設置箇所を増やす」、「市内の事業者へ、健幸について活動いただくように呼びかける」、「町内等で健幸についての呼びかけをしていただける人を作る」等の意見がありました。